

中学校はどんなとこ？



一月下旬、小学生の母親のGさん、中学生の母親Sさんと西 伸之さん（内野中教諭）に、子どもが小学校から中学校へ入学するときにとどのような配慮があったらいいかを中心に、話を聞きました。

（編集部）

一、中学校ってどんなイメージ

Gさん 中学校って、具体的には描けないのです。新聞やテレビなどから得る「いじめ」や暴力の情報で、心理的に右往左往している感じです。これから我が子が行く中学校については、ほとんど知らないのです。まだ小学校五年生ですから、切実さが薄いのもありますが。

Sさん 私もそうでしたが、中学校へ行ってみたらそれほど心配することはなかった、というのが実感です。

いま二人の子が通っています。

Gさん 不安といえば、中学校へ行ってうちの子が「いじめ」や暴力事件などに巻き込まれないかということです。いくらこちらで注意していても、「いじめ」や暴力に遭う場合があると思います。

西さん マスコミが報道する中学生の起こした事件などは、どこでも起こり得るものと考えたほうがいいでしょうね。中学生はその三年間に目覚ましい成長を遂げるのです。振幅が激しいのは成長の表れとみています。

二、先生との関係は？

Gさん つい先日、担任ではない先生に、放課後ある仕事を頼まれたのです。うちの子は、予定があると断ったのです。それを「お子さんは放課後、どこかへ行くことになっていたんですか」などと尋ねられました。その先生からも、担任からも。

西さん そのときの具体的状況は知らないで言うのですが、先生の持っている“素直で、言うことをきくのが、いい子”という子ども観を問い直さなければならぬと思います。

Sさん うちの子も“みんな仲良く”なんてできないよ、と言うのです。好きになれない子もいるし、仲良くななんてそんなに簡単にできないと。そういうことを言うる学級であり、仲間がいるのが我が子の中学校です。きょうの学習の資料にもたくさんでています。生徒たちは本音を語っています。中学生は、嘘っぽいことはすぐ見抜くように成長しています。

西さん それは、教師にも言えることです。自分のクラスのある子どもとウマが合わないとか、どうも波長が合わないということはあります。それを前提にして付き合っていくのが大切だと言いたいです。

Gさん 教師はプロなんです。仮に嫌いな子どもがクラスにいたとしても、同じ視線で接してほしいと思います。

西さん まったくその通りで、大多数の教師はそのように努めているはず。好き嫌いでなく、理解できないケースもあるのです。なぜ茶髪にするのか、ピア

スをするのか、など。理解できなくとも無視してはダメです。

その子は、いまはもう大学生ですが、中学のとき不登校になったのです。「先生は理解しなくてもいいから、私がそこにいることは認めてほしかった」と述懐しています。彼女は校則違反などの理由で、教室に入ってもらえず保健室が居場所でした。排除しては絶対にいけません。服装の規定に違反するのは、傷つきやすい心を守る、その子なりの鎧である場合もあるんです。

Sさん その子の発信しているサインを、先生方は専門家らしくキャッチして、指導してほしいですね。鎧を着なければいけない気持ちを分かってもらいたい。

三、子育ての環境と親としての反省

Gさん 子ども達について、色々困った事柄を言われていますが、私たちの子育ての付けが回ってきていると反省しています。こんな例を見ました。スーパーで親子三人がレジの前に並んでいて、お金を払わないうちに、子どもにバナナを食べさせているのです。こういうけじめの無いやり方が、自己中心的な性格をつく

るのではないでしょうか。そのあと母親に連れられた子が、パン屋さんで試食用と勘違いしたのか、売り物のパンをかじって棚に返すの見てしまいました。さっきの件があったので「大人が注意しなければ」と思い「そんなことをしてはダメよ」と言ったのです。するとその母親が「このオバさん、何よけいなことを言ってるの」という感じのすごい目つきでいらんで、「〇〇ちゃん、行きましょ」と手を引っ張って行ってしまったんです。言っても言わなくても不愉快です。羨ましいチャンスなのに。

四、中学校案内は？

Gさん 中学校は、先輩が絶対的な力を持っているって本当ですか。特に部活動の場では、そうなんですか？
西さん 部活では一般的に、先輩が後輩の面倒を技術面や躰の面でも指導します。中学校の特色の一つで、その中で両者が成長して行くこともよくあります。程度の問題ですから「絶対的な力」と、受け取られるとやはり問題かと思えます。

Sさん それぞれの部活で違っているんで、一概には言えないのでは。

西さん 入学式の案内は、その辺りを説明していませんから中学校は、こわくて固まるしい所という感じが入ってくるようです。四月頃家庭訪問すると、そういう感想をよくきました。

主に生徒指導の先生が、中学校は小学校と違って、標準服、体育用ジャージ、運動靴などみんな指定されたものを着用してきちんとしなければならぬ、とそういう面を強調するからです。

Sさん 学校の優しい面を、例えば保健室の先生がその役割を説明するなどがあるといいですね。これは子ども達向けにやることでしょうが。

Gさん 見学会のような機会を作ってもらえると、入学間近の小学生たちは、いっそう中学に親しみを持てるようになるのではないですか。

Sさん 高校や大学のような入学案内はいらぬと思います。内容のある実質的な、父母向けと子ども向けの入学説明会が必要だと思えます。

(聞き手・本田敏彦、吉田武雄)